東海道本線愛野(仮称)駅新設計画

JR 東海 正会員 山口 智 北 憲明

1.はじめに

静岡県袋井市東部では、平成14年のワールドカ ップサッカー本大会や、その前年のプレ大会、15 年の国民体育大会などの開催に向けて、小笠山総合 運動公園の開発工事が進められいる。

東海道本線愛野(仮称)駅は、小笠山総合運動公 園を中心に、同運動公園利用者並びに同地区の交通 拠点として、東海道新幹線と東海道本線を南北に横 断する自由通路橋(人道橋)新設及び既設架道橋(宮 ノ前架道橋)拡幅改築と併せて、掛川・袋井駅間(東 京起点234K570m付近)に計画され平成13 年春の開業に向けて平成10年10月から施工して いるところである。

2. 工事概要

本工事では既設架道橋拡幅改築に伴い、下り線を 当該地点で約0.85m(最大約1.1m)軌道扛 上する必要があった(図-2)。そのため、ホームを 新設するための線路切換(既設上り線から計画上り 線 第1回線路切換)だけでなく、下り線を軌道扛 上するための線路切換(既設下り線から仮下り線 第2回線路切換、仮下り線から計画下り線 第3回 線路切換)が必要となった。

工事は、まず、東海道本線上り線の北側に路盤工 事(補強盛土等) 架道橋工事(北側半分) 軌道工 事を行い、第1回線路切換(H11.9実施)第2 回線路切換(H11.10実施)を行った。それか ら、線路切換により確保したスペースに駅舎基礎工 及び鉄骨建方、乗降場基礎工、自由通路橋中間橋脚 設置するとともに、桁架設(H12.3~4実施) 架道橋工事(南側半分)を行い、第3回線路切換(H 12.6予定)を実施する。桁架設及び、第3回線 路切換完了後は、駅舎、乗降場、自由通路橋の上家 設置等の仕上げ作業に取組んでいく。図3~6に施 工順序を示す。



図 - 1 新駅完成イメージ(北口から)

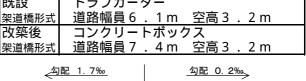
表 - 1 駅等設備一覧表

【駅設備】	
駅舎	橋上駅舎 約600m2
乗 降 場	島式ホーム 1面2線 延長220m
機械設備	自動改札 5 通路 自動券売機 4 台
昇降設備	エレベーター 1基
	エスカレータ 上下各 1 基
路 盤	盛土 約12000m3
	土留壁 約550m
軌 道	延長1900m 線路切換3回

【自由通路橋】 桁形式 2 径間連続鋼床版箱桁 6 m 延長約70 m 昇降設備 エレベーター 南北各1基

スカレータ

【既設架道 ラフガータ-既設 架道橋形式 道路幅員6.1m コンクリートボックス 改築後



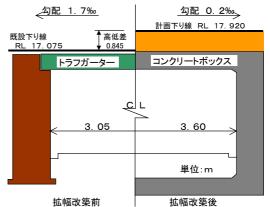


図 - 2 架道橋改築前後比較

キーワード 新駅 線路切換 計測管理 送出し架設 掛川市亀の甲一丁目4番2 1号川森屋ビル4F TEL(0537)24 9061 FAX(0537)24 9062 連絡先

3.計測管理について

工事は営業線近接作業であるため、常に盛土及び 軌道の変状監視を行いながら慎重に作業を進めてい る。特に、第2回線路切換後の既設架道橋拡幅改築 に伴う旧橋台撤去作業は、新幹線の擁壁及び盛土に 非常に近接した作業になることから、新幹線作業時 間帯で施工を行うことはもちろんのこと、新幹線構 造物に沈下計と傾斜計を設置して計測管理し、また、 **擁壁裏の裏込め注入工と盛土の薬液注入工を実施し** た上で、仮土留工を行い、ブレーカーで慎重に撤去 した。施工時の新幹線構造物の変状管理については 1次基準値(直ちに作業を中断し、軌道検測を実施) と2次基準値(直ちに作業を中断し、工法変更)を 定めて管理した。なお、沈下基準は1次1.5mm, 2次2.4mm、傾斜基準を1次2.5分,2次4. 0 分と定めている。現時点までは、1次基準値を超 えることはあったが、軌道変状は認めらていない。

4. 桁架設について

自由通路橋桁の架設は、線路上空の作業期間を最 小限に抑え、その施工実績も多いことから、送出し 工法(送出し延長77.2m、降下量3.3m)に より計画し実施した(図-7)。1日当りの作業時間 は、新幹線作業時間帯と在来線の線路閉鎖時間帯が 異なることから(表 - 2) 新幹線作業時間帯かつ在 来線列車間合の夜間4時間しか取れず、厳しい工程 管理を要した。また、今回の桁架設は新幹線盛土上 空を跨ぐ為、桁架設時の現地盤から桁までの高さは 最大で15.3mと高所であるとともに、現場が地 理的に風の強い地域であることから、デジタル風速 計で風速を監視しながら慎重に作業を行った。風に よる作業中止基準は10分間平均10m/sと定め、 実際の架設時の最大風速は9m/sであった。また、 桁送出し時と降下時の反力の不均等荷重を20%以 内に抑える為、反力管理システムによりジャッキ反 力を集中管理した。なお、桁架設に要した日数は、 送出し7日、降下7日である。

5. おわりに

工期約2年半の間に3回の線路切換が伴い、安全 安定輸送、工程管理において十分に気を付け施工管 理を行っていく。



図-3 施工前



図-4 路盤工・架設橋(北側)施工時

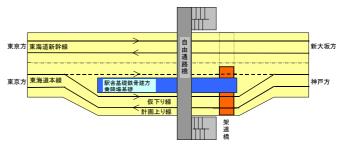


図-5 桁送り出し架設完了時

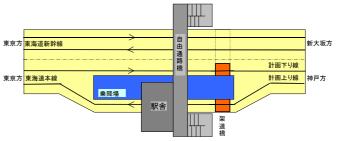


図-6 工事完了時

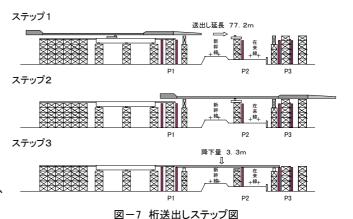


表-2 夜間作業時間帯

